

相対論は役に立つか？ 中村卓史

登場人物 卓先生（相対論侍）と寅さん（一般市民）

- 寅さん** 「相対論って、あのアインシュタインと関係あるやつ？あんまり興味ないなあ。
そんなものが役に立とうが立たまいが、俺とは関係ないな。どうせ講演会をやるなら、
もっと面白い、ヒロシとか波田陽区を呼んでよ。」
- 卓先生** 「たわけめが！ 何をごちゃごちゃ言っているのだ。拙者は相対論侍だ。
今からおぬしを斬ってやる。」
- 寅さん** 「だって、雲の上の話でしょう？ 何か僕にもわかる例でもあげてくれればね？
ないんじゃないですか？」
- 卓先生** 「カーナビはいろんなところに正確に車を案内してくれるし、最近は、携帯のGPSも
あって、自分がどこにいるか正確にわかるって言うじゃない。でも、カーナビも携帯
のGPSも全部相対論のおかげで動くのだからね。どうだ。参ったか！」
- 寅さん** 「斬られた！！ これはお見それしました。相対論侍様、他にも相対論はどんな役に
たつのでしょうか？」
- 卓先生** 「そうだな、相対論を使うとレンズなしで望遠鏡が作れるな。建設費も維持費も不要だ。」
- 寅さん** 「タダなら、是非その望遠鏡を1つくださいな。」
- 卓先生** 「考えておく。ところで、これから役に立つ本命は重力波だな。」
- 寅さん** 「え？重力波？？ 電波なら聞いたことがあります、重力波というのは何ですか？」
- 卓先生** 「電波に気が付くとは、おぬしも少しは見込みがある。携帯電話は電波を使っているな。
携帯電話の中では電流が回路の中でくるくる回っている。すると、電波が出る。電波
を使っておぬしはメールを送っているわけだ。さて、アインシュタインによると、電
気がなくても質量を持ったものがくるくる回ると重力波が出る。 重力波はやはり光
速で進むので、宇宙の始まりとか、ブラックホールの謎が分かると期待されている。
それで、今、世界各国で重力波を使った望遠鏡が建設されている。これは、タダじゃ
なくて少し金がかかる。」
- 寅さん** 「それは、面白そうですね。でも相対論侍様、講演は難しい式や 眠くなるような理屈
ばかりでしょう。」
- 卓先生** 「式や難しい理屈を使うのは相対論侍（専門家）同士の密談の時じゃ。市民には綺麗な
写真、秘蔵のビデオ、面白い音、シュミレーションしか使わない。聞いたら、そのあ
とには、賢くなったような気になって、幸せな気分になること、受けあいじゃ。」
- 寅さん** 「へえ・・・面白そうですね。じゃ、是非うかがうことにしますよ。」